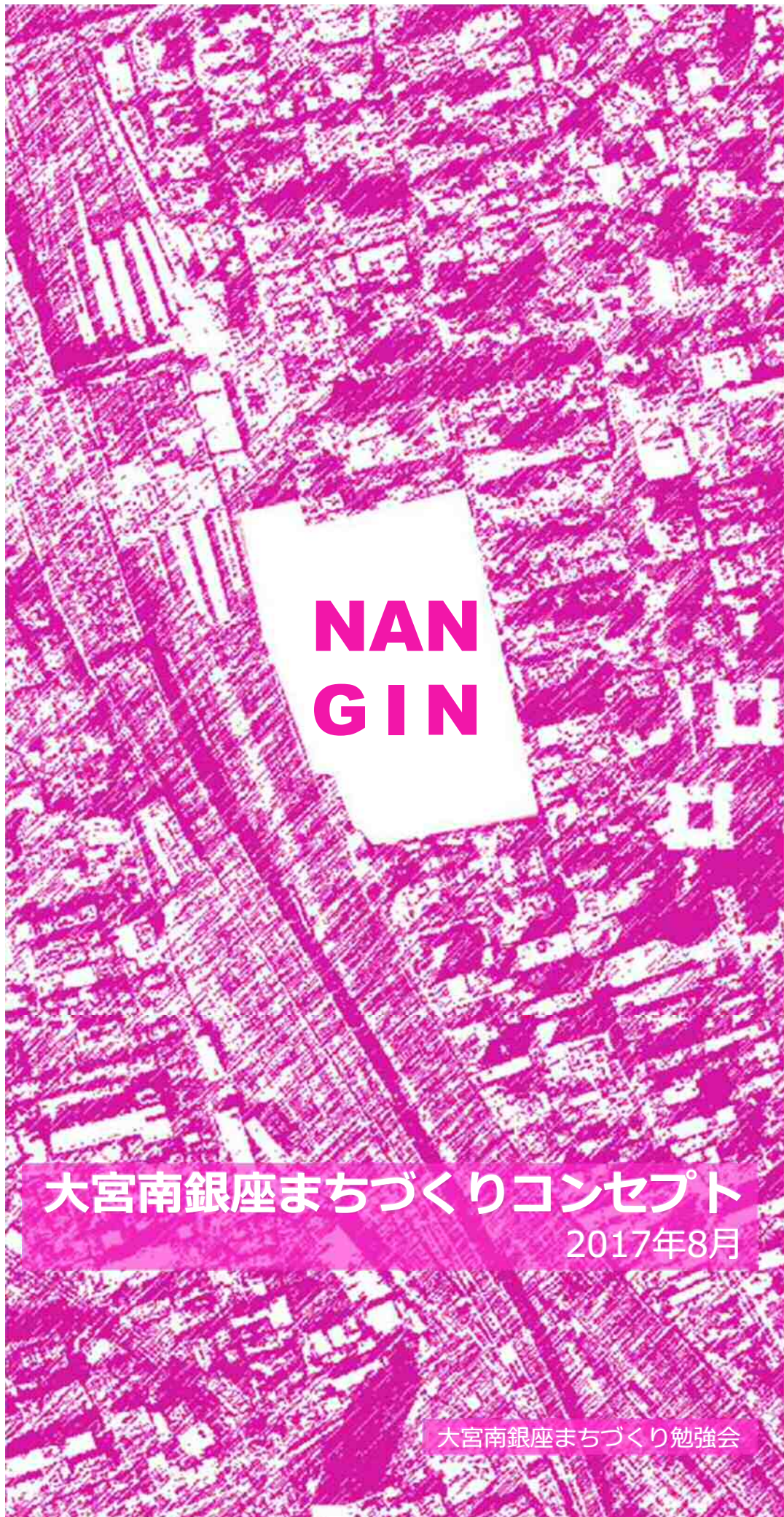


UNIVERSAL



**NAN
GIN**

大宮南銀座まちづくりコンセプト

2017年8月

大宮南銀座まちづくり勉強会

背景

大宮南銀座地区は、様々な飲食店が建ち並び、多くの人々に憩いと潤いの場を提供している県内屈指の繁華街です。大宮を訪れる人々を楽しませる娯楽のまちとして、大衆文化を育み交流の場を提供しています。

一方で、急激な人口減少や周辺都市の開発などを背景とした都市間競争の激化、建物の老朽化による地震や火災時の安全面への不安など、地区を取り巻く環境は厳しい状況へと変化しています。このような背景から、本地区がこれからも多くの人々に選ばれ続け、商売を繁盛させ、地区や資産の価値を高めていくことを目的にまちづくりのコンセプトをとりまとめることになりました。

検討範囲

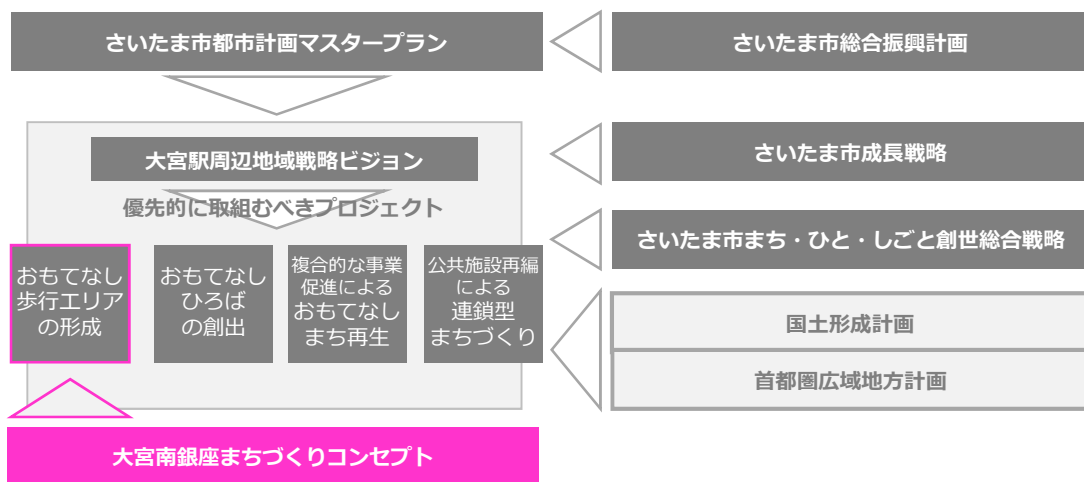


大宮南銀座まちづくりコンセプトの位置づけ・目的

大宮駅周辺地域では、行政が地域と一体となって策定した「大宮駅周辺地域戦略ビジョン2010」（以下、「戦略ビジョン」という。）に位置づける「おもてなしあふれる東日本の顔となるまち」を目指し、多くのまちづくり団体が主体となって様々なまちづくり活動が推進されています。

大宮南銀座地区は、「戦略ビジョン」の優先プロジェクトのひとつ「おもてなし歩行エリア」の中に位置し、大宮を訪れる人、住む人、働く人、多様な人々をおもてなしする役割を担っています。

『大宮南銀座まちづくりコンセプト』は、今後の大宮南銀座地区のまちづくりの将来像を共有するためのベースとなるプランであり、地区が持つ個性とポテンシャルをより向上していくためのまちづくりの計画です。関係する上位計画の考え方を継承しながら、大宮南銀座地区が目指すべきまちづくりの将来像を提案するものです。

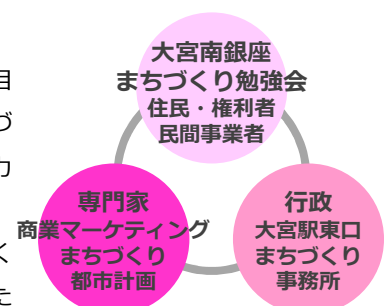


まちづくりの推進体制

大宮南銀座まちづくりコンセプトは、「大宮南銀座まちづくり勉強会」（以下、「勉強会」という。）(2015.12設立)が作成しています。

勉強会は、大宮南銀座を明るく活気が溢れ誰でも楽しめる地区としていくことを目的とした、住民・権利者・民間事業者を中心に構成するまちづくり団体です。まちづくりに関する意見交換会やワークショップなどの定期的な活動を継続し、地域の魅力や課題などについて勉強しています。

今後の具体的なまちづくりの推進は、勉強会を核に商業マーケティングやまちづくりの専門家、行政等、様々な主体による連携・協働を図りながら、ステージに応じた見直しを行いつつ、まちづくりの実現を目指していきます。



さまざまな交流と対流を生み出し NANGINの魅力と価値を高めていく

UNIVERSAL 南銀

東日本の玄関口である大宮の顔として、様々な人やモノ・情報が集まり、交わり、これらを起点に各都市との対流を創出する核となる地区を目指します。このまちづくりコンセプトは、大宮南銀座まちづくり勉強会に参加された方々から実際に出た意見をもとに作成した、参加者全員で作上げたものです。このコンセプトをひろく共有しながら、さまざまな交流と対流を生み出す“UNIVERSAL”な南銀となることを目指します。

<5つの魅力が交わる将来像>

- 安心 娯楽** 防災、防犯性の向上により、誰もが安心して楽しむことのできるまちを創造します。
- 新旧 混交** 古き良さを大切にしつつ、常に新しき良さを取り入れる、豊かな文化を育むまちを創造します。
- 多様 寛容** 様々な人々がいつでも自分の居場所を見つけられる、多様性と寛容性に満ちたまちを創造します。
- 発見 驚き** 趣の異なる街路、多様で魅力的な店舗が集積する、発見と驚きに満ちたまちを創造します。
- 出会 交流** 多様な人やモノ、情報が集まり、交わる、出会いと交流の場を提供するまちを創造します。

<将来像を実現していくための方針>

- まちの安心安全と品格向上のための街路整備
- まちの良さを活かし伸ばしていく
- 新たなお客様、魅力的な店舗を誘致するための仕掛づくり

道筋を付けることができることからすぐ始める

まちの安心安全と品格向上のための街路整備

ハードを中心に街路空間の質を向上

- ◆ 緊急車両の通れる道路整備
- ◆ 建物更新を促進するための規制緩和や街並みの誘導
- ◆ 道路面の材質向上
- ◆ 電線類の地中化や柱の整理
- ◆ 排水施設の改善
- ◆ 通り、路地の命名
- ◆ 照明の整備、演出

新しい魅力を創出する線路脇道路の演出

線路脇の魅力が高めることでまちに人を惹き付ける

- ◆ 暖かみのある照明
- ◆ 線路際の演出
- ◆ 自転車駐車場の整理
- ◆ 広場の設置

- 優先整備対象
- 線路脇道路
- 趣のある路地
- 地区外の動線
- まちの入り口
- 路地の入り口

まちの良さを活かし伸ばす街づくり

既存街区、路地を活かした南銀らしさを感じる路面材や照明、統一感のあるファサードなどで空間を演出する

地区特性の把握

南銀独自のまちに即した特性を把握し活かす

- ◆ テナントの業種変化の把握
- ◆ 昼夜の交通量調査・統計データ

情報提供・発信

効果的な情報発信によりまちや店舗に誘導

- ◆ 情報発信装置の整備（掲示板、マップ、バーホールド、デジタルサイネージ等）
- ◆ 統一感のある演出

ルール・活動

ルールや活動によりまちの環境を向上

- ◆ 看板掲出方法の改善
- ◆ 定期的な個別清掃
- ◆ 客引き対策
- ◆ パトロールの実施
- ◆ 搬入ルートの改善（中山道→南銀通り）

お客様、魅力的な店を誘致する仕掛づくり

まちに足が向き、店に入りたくなる仕掛けづくり

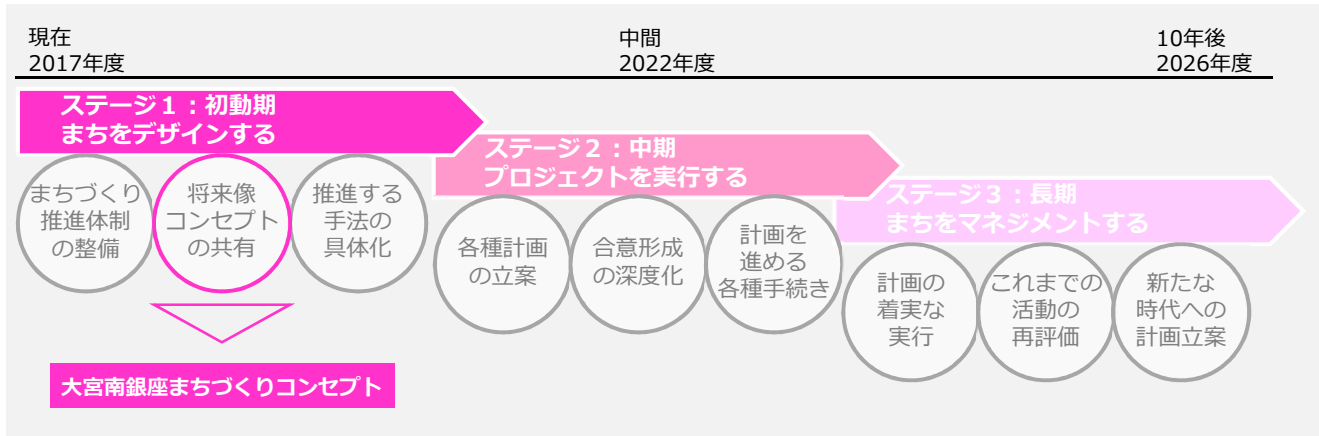
- ◆ オープンテラスの設置
- ◆ ランチ営業の促進
- ◆ 女性に人気の店舗を誘導
- ◆ 大宮ならではのスイーツ店
- ◆ 魅力的な店舗の誘致
- ◆ 若者に訴求力のある施設の創造

魅力的な店舗を誘致するための仕掛けづくり

- ◆ カフェが出店したくなるハード整備
- ◆ 一坪店舗の設置
- ◆ ビルテナントの用途誘導

大宮南銀座まちづくりアクションプラン

大宮南銀座まちづくり勉強会の活動の指標とするため、これからの10年の取組みをアクションプランとして作成しています。このアクションプランは、まちづくりのステージや社会情勢の変化にあわせて柔軟に更新・変更を繰り返しながら、より良いプランに磨き上げていくためのたたき台となるものです。今後も引き続き勉強会の活動を継続し、大宮南銀座のまちづくりを着実に推進してまいります。



大宮南銀座まちづくりコンセプト

2017年8月

大宮南銀座まちづくり勉強会

- 会長 山崎泰生
- 副会長 大塚康宏、小島敏也
- 会計委員 斉藤良隆、柴崎進
- 監査委員 川鍋裕夫、岡村保
- 事務局 渡邊秀夫（事務局長）、島村隆、五月女裕、松島康成

制作協力 株式会社POD
東京都千代田区神田美土代町3-4ニュー楓ビル9F
TEL 03-5577-6464
www.podinc.jp

問合せ窓口 さいたま市都市局都心整備部大宮駅東口まちづくり事務所
大宮南銀座まちづくり担当
TEL 048-646-3290 FAX048-646-3292
Mail omiya-higashi-machidukuri@city.saitama.lg.jp